

慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resources

Title	編集後記
Sub Title	
Author	副田, 賢二(Soeda, Kenji) 松田, 浩(Matsuda, Hiroshi) 八木, 陽介
Publisher	慶應義塾大学国文学研究室
Publication year	1998
Jtitle	三田國文 No.28 (1998. 9)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00296083-19980900-0068

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

◆今回初めて編集を担当することになったのですが、まだまだ右も左もわからず、ひたすら電話をかけていたという印象です。しかしこれからはパソコンも始めたことですし、ますます適切で迅速な編集作業を実現することができるでしょう。これからも頑張ります。（副田賢二）◆「いにしへに梁打つ人のなかりせばここにもあらまし柘の枝はも」の万葉歌の「柘の枝」は仙女に化すという伝説のもの。梁は魚を捕る為の仕掛けの筈だが、古代の人々は随分と見当違いのものを捕まえている。播磨風土記には河に仕掛けた筌で鹿が捕まつた話が残されているし、古事記には鳴鯛に鯨が懸かつたとの歌謡がある。どれも珍妙な話であるが、古代人がこれらを受容する心意的基盤は如何なる処にあつたのか、考えてみると面白い。（松田浩）◆やつぱり部屋の整理整頓は苦手だ。文庫本の塔、そのふもとに旅行用のバッグ、部屋の隅にCDの尾根、ふすまの近くにモロッコ製の太鼓、レンタルビデオの袋がだらしなく寝そべりぽつかり空いた畳のスペースに最近さわっていない鉄亜鉛 でもとにかく机の上だけは広々している。最低限の物しか置かない。これだけでもけつこう落ち着く。机の上は広い方がいい。（八木陽介）

◆次号以降への寄稿を隨時受け付けております。執筆希望の方は、編集委員又は垣連絡先までご連絡下さい。